2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	株式会社一家ホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	7127	URL	https://ikka-holdings.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	武長太郎
問合せ先責任者	（役職名） 取締役管理部長	（氏名）	高橋広宜　(TEL) 047-711-0850
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	―

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け　　）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	5,603	7.4	△244	―	△271	―	△181	―
2026年３月期中間期	5,215	14.7	△46	―	△69	―	△52	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△59百万円（　　―%）　2026年３月期中間期　16百万円（　　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△24.67	―
2026年３月期中間期	△7.35	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	6,761	976	13.9
2026年３月期	6,523	1,021	15.1

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　943百万円　2026年３月期　986百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,549	8.8	414	65.5	367	85.4	229	190.3	31.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　ー社（社名）　ー

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	7,367,800株	2026年３月期	7,345,400株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	ー株	2026年３月期	ー株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	7,354,965株	2026年３月期中間期	7,183,728株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しに関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境に改善が見られるなど緩やかな回復基調を維持している一方、依然として地政学リスクに伴う原材料費・エネルギーコストの高騰、円安進行などの影響が長期化しており、未だ景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、アフターコロナでの人流の増加に加え、インバウンド需要も回復基調である一方、原材料費・光熱費等の高騰や人材不足及び採用コストの増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供するために、引き続き優秀な人材の確保及びサービス力向上、各ブランドのブランド力向上に注力してまいりました。

飲食事業においては、新規出店、既存店のサービス力向上及び店舗オペレーションの改善、各業態における外部販促強化による新規客数の増加、自社アプリなどの会員獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

新規出店に関しては、ドミナントエリアへ４店舗（寿司トおでんにのや 西船橋店・大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん 人形町店・横浜店、屋台屋博多劇場 南越谷店）、初出店となる茨城県内へ２店舗（大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん 水戸店、寿司トおでんにのや 水戸店）新規出店したほか、「韓国屋台ハンサム 藤沢店」を「寿司トおでんにのや 藤沢店」に業態変更いたしました。これらの結果、飲食事業の直営店店舗数は93店舗となりました。

既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態・大衆ジンギスカン酒場ラムちゃん業態・にのや業態・韓国屋台ハンサム業態）客数は前年同期比2.7%減で推移した一方、既存店客単価は前年同期比3.2%増で推移し、既存店売上高は前年同期比0.4%増となりました。

ブライダル事業においては、近年、少子化やいわゆる「ナシ婚」の増加による婚礼件数の減少に加え、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼１組当たりの組人数も減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化、SNSを活用したブランディング強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

今期より、従来アウトソーシングしていた婚礼サービス業務を自社で内製化することで、大幅なコスト削減、自社スタッフによる“おもてなし”の強化を図っております。

婚礼の施行数については、前期下半期の新規来館の取込みに苦戦したことが影響し、前年同期比で減少いたしました。一方で、組人数については好調に推移し、前年同期比で増加し、それにより組単価は増加いたしました。そのほか、宴席及びレストランについては好調に推移いたしました。

レジャー事業においては、バーベキュー・ビアガーデン業態の既存店３店舗の運営に加え、２店舗（THE BBQ POINT FUJI PARK、韓国屋台ハンサムMUFGスタジアム内期間限定出店）を新規出店したほか、茨城県のレジャー施設「THE BOTANICAL RESORT『林音』（ザ ボタニカルリゾート リンネ）」の新規集客、認知拡大、サービス力向上に注力してまいりました。

グループ全体で、飲食事業の新規出店店舗数増加、レジャー事業部において昨年11月より「THE BOTANICAL RESORT『林音』（ザ ボタニカルリゾート リンネ）」の運営を開始したことなどにより売上高は前年同期比で増加した一方、飲食事業店舗の新規出店に係る経費、店舗・施設運営に係る経費の増加などにより販売費及び一般管理費は前年同期比で増加いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は5,603,368千円（前年同期比7.4%増）、営業損失は244,900千円（前年同期は営業損失46,124千円）、経常損失は271,351千円（前年同期は経常損失69,444千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は181,447千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失52,809千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 飲食事業

売上高は4,359,268千円（前年同期比4.1%増）、セグメント損失（営業損失）は60,737千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は61,938千円）となりました。

② ブライダル事業

売上高は711,673千円（前年同期比12.6％減）、セグメント損失（営業損失）は162,320千円（前年同期のセグメント損失（営業損失）は157,431千円）となりました。

③ レジャー事業

売上高は531,326千円（前年同期比148.9％増）、セグメント損失（営業損失）は41,080千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は31,966千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（総資産）

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が184,665千円減少したものの、新規出店等に伴い有形固定資産が251,801千円、投資その他の資産のその他が192,900千円増加したことなどにより、6,761,861千円（前連結会計年度末比238,194千円の増加）となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債は、未払金が106,404千円減少したものの、１年内返済予定の長期借入金が188,321千円、長期借入金が256,990千円増加したことなどにより、5,785,170千円（前連結会計年度末比282,896千円の増加）となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は、その他有価証券評価差額金が121,200千円増加したものの、親会社株主に帰属する中間純損失の計上に伴い利益剰余金が181,447千円減少したことなどにより、976,690千円（前連結会計年度末比44,701千円の減少）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物の残高は1,549,835千円（前年同期は1,231,808千円）となりました。当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは141,811千円の支出（前年同期は24,883千円の収入）となりました。これは、税金等調整前中間純損失271,351千円の計上、未払金の減少額79,087千円及びその他の負債の減少額55,355千円などによる資金の減少が、減価償却費166,690千円の計上、売上債権の減少額101,543千円などによる資金の増加を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは467,253千円の支出（前年同期は368,577千円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出408,876千円及び投資有価証券の取得による支出30,396千円などによる資金の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは456,999千円の収入（前年同期は236,335千円の収入）となりました。これは、長期借入れによる収入1,036,253千円などによる資金の増加が、長期借入金の返済による支出554,689千円などによる資金の減少を上回ったことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績が概ね当初計画通りに進捗していることから、2027年３月期の業績予想については、2026年５月14日公表の「2026年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の予想を変更しておりません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,860,885	1,676,219
売掛金	508,789	407,245
その他	295,874	305,332
貸倒引当金	△1,059	△803
流動資産合計	2,664,489	2,387,993
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,823,620	3,142,078
減価償却累計額	△1,123,587	△1,188,905
建物及び構築物（純額）	1,700,032	1,953,172
その他	1,265,783	1,334,058
減価償却累計額	△837,394	△907,007
その他（純額）	428,389	427,050
有形固定資産合計	2,128,422	2,380,223
無形固定資産		
のれん	1,400	700
その他	21,058	24,686
無形固定資産合計	22,459	25,387
投資その他の資産		
敷金及び保証金	889,517	903,694
繰延税金資産	325,782	378,664
その他	492,996	685,897
投資その他の資産合計	1,708,296	1,968,256
固定資産合計	3,859,177	4,373,867
資産合計	6,523,667	6,761,861

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	304,749	284,654
1年内返済予定の長期借入金	983,808	1,172,129
未払金	603,314	496,909
未払法人税等	16,100	7,048
資産除去債務	5,839	6,748
その他	343,719	291,894
流動負債合計	2,257,530	2,259,384
固定負債		
長期借入金	2,731,126	2,988,116
資産除去債務	316,035	323,569
その他	197,583	214,100
固定負債合計	3,244,744	3,525,786
負債合計	5,502,274	5,785,170
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,741	58,948
資本剰余金	1,217,915	1,226,121
利益剰余金	△331,742	△513,189
株主資本合計	936,914	771,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,035	171,235
その他の包括利益累計額合計	50,035	171,235
新株予約権	22,555	20,929
非支配株主持分	11,887	12,645
純資産合計	1,021,392	976,690
負債純資産合計	6,523,667	6,761,861

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	5,215,905	5,603,368
売上原価	1,687,411	1,798,124
売上総利益	3,528,494	3,805,243
販売費及び一般管理費	3,574,618	4,050,144
営業損失（△）	△46,124	△244,900
営業外収益		
受取利息	1,383	3,050
受取手数料	683	2,353
その他	2,865	2,441
営業外収益合計	4,931	7,845
営業外費用		
支払利息	21,125	31,231
その他	7,126	3,065
営業外費用合計	28,252	34,296
経常損失（△）	△69,444	△271,351
税金等調整前中間純損失（△）	△69,444	△271,351
法人税、住民税及び事業税	8,172	6,923
法人税等調整額	△25,080	△97,586
法人税等合計	△16,908	△90,662
中間純損失（△）	△52,536	△180,689
非支配株主に帰属する中間純利益	273	757
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△52,809	△181,447

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純損失（△）	△52,536	△180,689
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68,574	121,200
その他の包括利益合計	68,574	121,200
中間包括利益	16,038	△59,489
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	15,764	△60,247
非支配株主に係る中間包括利益	273	757

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△69,444	△271,351
減価償却費	143,626	166,690
長期前払費用償却額	19,291	20,598
のれん償却額	700	700
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△206	△255
受取利息	△1,383	△3,050
支払利息	21,125	31,231
助成金収入	△1,975	△933
売上債権の増減額（△は増加）	△32,755	101,543
仕入債務の増減額（△は減少）	130	△20,094
未払金の増減額（△は減少）	△52,262	△79,087
その他の資産の増減額（△は増加）	△5,142	8,686
その他の負債の増減額（△は減少）	29,075	△55,355
その他	4,261	2,673
小計	55,041	△98,003
利息の受取額	1,372	3,046
利息の支払額	△21,634	△31,774
法人税等の支払額	△11,871	△16,013
助成金の受取額	1,975	933
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,883	△141,811
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△301,029	△408,876
投資有価証券の取得による支出	△30,396	△30,396
無形固定資産の取得による支出	△2,783	△6,500
差入保証金の差入による支出	△22,310	△23,240
差入保証金の回収による収入	483	9,063
その他	△12,542	△7,303
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368,577	△467,253
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	730,000	1,036,253
長期借入金の返済による支出	△478,616	△554,689
株式の発行による収入	4,435	3,571
リース債務の返済による支出	△19,483	△28,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	236,335	456,999
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△107,358	△152,065
現金及び現金同等物の期首残高	1,339,166	1,701,901
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,231,808	1,549,835

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。